

## 平成15年度当初予算主要事業説明

### 一般会計

#### (09)消防費

事業名	予算額	概要	所管								
救急救命士の資格取得養成	8,488	<p>傷病者の救命率の一層の向上を図るため、救急救命士の資格取得を促進する。(3名)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>3～14年度</td> <td>15年度</td> <td>16～17年度(計画)</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>34人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>42人</td> </tr> </table>	3～14年度	15年度	16～17年度(計画)	計	34人	3人	5人	42人	総務課
3～14年度	15年度	16～17年度(計画)	計								
34人	3人	5人	42人								
(新規事業)メディカルコントロール体制の整備	2,500	<p>救急救命士の処置範囲の拡大等、救急業務の高度化を図るため、実施した処置の事後検証や再教育などを行うメディカルコントロール体制を構築する。 高度救命処置シミュレーターの整備など</p>	警防課								
応急手当の普及啓発	900	<p>救命率の向上を図るため、「応急手当普及員バンク」に登録された応急手当普及員の協力を得ながら、応急手当の普及啓発を推進する。 目標 講習回数140回、受講人数3,500人 平成15年度末 応急手当普及員バンク登録目標 140名</p>	警防課								
消防総合指令情報の構築	54,400	<p>消防総合指令情報システムを構築し、災害活動の迅速化と消防事務の効率化を図り、市民サービスの更なる向上を目指す。</p>	通信指令課								
富山消防署東部出張所の建設	10,000	<p>防災拠点施設の強化を図るため、老朽化の著しい富山消防署東部出張所の移転建設に向け、庁舎の実設計計を行う。</p>	総務課								
分団器具置場の建設	26,000	<p>地域の防災拠点である消防団器具置場を、防災資機材等も収納できる施設として建替え、地域の防災力の向上を図る。(八人町) 敷地面積:93.7㎡ 延べ床面積:100.0㎡</p>	総務課								
火災のない安全なまちづくり事業	3,500	<p>市民を対象に防火・防災に対する意識高揚を図り、災害のない明るいまちづくりを推進する。 消火器体験実習会の開催、情報紙の発行他</p>	予防課								
自主防災組織の育成指導	1,000	<p>地震等大規模災害が発生した場合、自主防災組織が効果的な活動を実施できるよう、各種機器の取り扱いや応急救護、初期消火等の指導を実施する。</p>	警防課								
防火水槽の整備	39,844	<p>消防水利の不足地域や、消火栓のみに偏った地域に40m<sup>3</sup>型の防火水槽を設置し、消防水利の整備充実を図る。 40m<sup>3</sup>型防火水槽5基</p>	警防課								
消防車両の更新整備	73,000	<p>老朽化の著しい車両の更新整備を図る。 ・水槽付消防ポンプ車 2台(富山、南部) ・普通ポンプ車(団) 2台(愛宕、太田)</p>	警防課								